

ま ぐ ら こ い ち に ち  
万 倉 っ 子 の 一 日

が っ こ う せ い か つ

学 校 生 活 の や く そ く



1 1 ふくそう  
服装について

- ・ 黄色の安全帽子をかぶりましょう。
- ・ 校内では、名札を付けて標準服で過ごしましょう。(白のカッターシャツ、ブラウス、ポロシャツの着用)
- ・ その日の天候や体調に合わせて、服装を工夫しましょう。(セーターやトレーナーなどを着用、体温調節・体調管理)
- ・ 靴下は、運動や学習活動にふさわしいものをはきましよう。大事な式や学校行事では、白い靴下をはきましよう。
- ・ 靴は、運動や学習活動にふさわしいものをはきましよう。
- ・ 髪の毛の長い人はゴムで結ぶなどして、状態を整えましよう。(ゴムの色は、黒・紺・茶など)

2 1 ふゆ ふくそう  
冬の服装について

- ・ 防寒着(ジャンパーなど)や防寒具(手袋など)は、室内では脱ぎましよう。
- ・ 安全面から防寒着のフードは危ないので使用(着用)しません。
- ・ 安全面からフード付きパーカーやポンチョのようなダボダボの服などは危ないので着用しません。
- ・ ネックウォーマーやマフラーなどを使用(着用)する時は、安全面から顔が大きくかかれないようにましよう。
- ・ 貼るカイロは、体調に合わせて必要な時だけ使いましよう。(人には見せません。)
- ・ 貼らないカイロは、ケガ(ポケットに手を入れたままの歩行)や大便器の詰まりなどの原因になるので使いましません。必要な場合は、先生に相談ましよう。
- ・ 体育の授業では、安全面からタイツは脱ぎ靴下にはきかえて活動ましよう。
- ・ 寒い日の体育では、ジャージやトレーナーなど運動にふさわしい上着を着て活動することができます。ただし、安全面からフード付きパーカーやポンチョのようなダボダボの服などは危ないので着用しません。

## 2 持ち物について

- 自分の持ち物には、全て名前を書きましょう。
- ハンカチやティッシュは、毎日持ってきましょう。
- キーホルダーなど、学習に必要なものを持ってきません。
- 学習にふさわしい文房具を準備しましょう。(シャープペンシル不可)
- 文房具や学習道具の貸し借りはしないようにしましょう。(忘れ物をしないように気をつけましょう。)



## 3 登校について

- 集合時間を守って、決められた集場所に集まりましょう。
- 7時45分から8時までの間に集団登校しましょう。
- 交通ルールを守って、1列に並んで通学路を歩きましょう。
- 忘れ物をして、危ないので引き返して家に取りに帰りません。
- 集場所に遅れるときや学校を休むときには、同じ班の友だち(班長)に早めに知らせましょう。



## 4 休み時間について

- 天気のよい日は、外で元気よく遊びましょう。
- 外で活動するときは、赤白帽子をかぶりましょう。
- サッカーボールなど、使ったものはきちんと片付けましょう。
- 雨の日や運動場が使えない日は、教室で静かに過ごしましょう。



## 5 そうじについて

- チャイムが鳴ったら、すぐにそうじを始めましょう。
- 班長の言うことをよく聞いて、だまってそうじをしましょう。
- 上着を脱いで、赤白帽子をかぶってそうじをしましょう。
- 女子は、ハーフパンツでそうじをしましょう。
- 寒い日は、トレーナーを着るなど服装を工夫しましょう。



## 6 下校について

- 下校は、一人で帰らず同じ方向の人と一緒に帰りましょう。
- 決められた通学路を通り、安全に気をつけて寄り道をせずに帰りましょう。
- 集団下校のときは、だまって早く集合し、1列で並んで帰りましょう。
- 雨の日の集団下校は、多目的スペースに集まりましょう。

## 7 その他<sup>ほか</sup>について

- ・ チャレンジ<sup>もくひょう</sup>目標「あいさついちばん・やさしさいちばん・やりますいちばん」をめざして、みんなとなかよく生活<sup>せいかつ</sup>しましょう。
- ・ 進<sup>すす</sup>んで明るく元<sup>あか</sup>気なあいさつをしましよ。
- ・ 「10の愛<sup>あい</sup>ことば」を進<sup>すす</sup>んで使<sup>つか</sup>いましょう。
- ・ 返<sup>へんじ</sup>事ははっきりとしましよ。
- ・ 時<sup>とき</sup>や場<sup>ば</sup>、相<sup>あ</sup>手に応<sup>おう</sup>じた正<sup>ただ</sup>しい言<sup>ことば</sup>葉<sup>ば</sup>づか<sup>い</sup>をしましよ。  
(先生・地<sup>ち</sup>域<sup>いき</sup>の方<sup>かた</sup>に対する言<sup>ことば</sup>葉<sup>ば</sup>づか<sup>い</sup>、友<sup>とも</sup>達<sup>だち</sup>に対する言<sup>ことば</sup>葉<sup>ば</sup>づか<sup>い</sup>)
- ・ 話<sup>はなし</sup>を聞<sup>き</sup>くときは、だま<sup>はな</sup>って話<sup>はなし</sup>す人<sup>ひと</sup>の目<sup>め</sup>を見<sup>み</sup>て、最<sup>さい</sup>後<sup>ご</sup>ま<sup>き</sup>できちんと聞<sup>き</sup>きま<sup>し</sup>よ。
- ・ 放<sup>ほう</sup>送<sup>そう</sup>は静<sup>しず</sup>かに最<sup>さい</sup>後<sup>ご</sup>ま<sup>き</sup>でしっか<sup>り</sup>と聞<sup>き</sup>きま<sup>し</sup>よ。
- ・ 職<sup>しょく</sup>員<sup>いん</sup>室<sup>しつ</sup>に入<sup>はい</sup>るときは、礼<sup>れい</sup>をし<sup>て</sup>用<sup>よう</sup>事<sup>じ</sup>をは<sup>り</sup>っきりと<sup>い</sup>い<sup>ま</sup>し<sup>よ</sup>。
  - ①「失<sup>しつ</sup>礼<sup>れい</sup>しま<sup>す</sup>。○年<sup>ねん</sup>の○<sup>〇</sup>です。○<sup>〇</sup>先<sup>せん</sup>生<sup>せい</sup>に用<sup>よう</sup>事<sup>じ</sup>があ<sup>っ</sup>て来<sup>き</sup>ま<sup>し</sup>た。」
  - ②「失<sup>しつ</sup>礼<sup>れい</sup>しま<sup>し</sup>た。」
- ・ 廊<sup>ろう</sup>下<sup>か</sup>や階<sup>かい</sup>段<sup>だん</sup>は右<sup>みぎ</sup>側<sup>がわ</sup>を静<sup>しず</sup>かに歩<sup>ある</sup>きま<sup>し</sup>よ。教<sup>きょう</sup>室<sup>しつ</sup>移<sup>い</sup>動<sup>どう</sup>のときも、だま<sup>な</sup>って並<sup>なら</sup>んで移<sup>い</sup>動<sup>どう</sup>しましよ。
- ・ 体<sup>たい</sup>育<sup>いく</sup>館<sup>かん</sup>のス<sup>ス</sup>テ<sup>テ</sup>ー<sup>ー</sup>ジ<sup>ジ</sup>やキ<sup>キ</sup>ャ<sup>ャ</sup>ット<sup>ト</sup>ウ<sup>ウ</sup>ォ<sup>ォ</sup>ーク<sup>ク</sup>にはあ<sup>あ</sup>が<sup>が</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>ん。
- ・ み<sup>み</sup>ん<sup>ん</sup>が<sup>が</sup>使<sup>つか</sup>う<sup>う</sup>物<sup>もの</sup>は大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>にしましよ。(本<sup>ほん</sup>・楽<sup>がく</sup>器<sup>しゆ</sup>・学<sup>がく</sup>習<sup>しゆ</sup>道<sup>どう</sup>具<sup>ぐ</sup>・節<sup>せつ</sup>電<sup>でん</sup>節<sup>せつ</sup>水<sup>すい</sup>など)
- ・ 友<sup>とも</sup>だ<sup>だ</sup>ち<sup>ち</sup>にお<sup>お</sup>金<sup>かね</sup>や物<sup>もの</sup>をあ<sup>あ</sup>げ<sup>げ</sup>たり<sup>り</sup>も<sup>も</sup>ら<sup>ら</sup>つ<sup>つ</sup>たり<sup>り</sup>しま<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>ん。
- ・ 人<sup>ひと</sup>の物<sup>もの</sup>を勝<sup>か</sup>つて<sup>て</sup>にさ<sup>さ</sup>わ<sup>わ</sup>つ<sup>つ</sup>たり<sup>り</sup>使<sup>つか</sup>つ<sup>つ</sup>たり<sup>り</sup>しま<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>ん。
- ・ 学<sup>が</sup>校<sup>こう</sup>を休<sup>やす</sup>むときや遅<sup>おく</sup>れるときは、必<sup>かな</sup>ず学<sup>が</sup>校<sup>こう</sup>に連<sup>れん</sup>絡<sup>らく</sup>しましよ。
- ・ 下<sup>げ</sup>校<sup>こう</sup>した後<sup>のち</sup>、忘<sup>わす</sup>れ<sup>れ</sup>物<sup>もの</sup>を取<sup>と</sup>りに来<sup>く</sup>るなど校<sup>こう</sup>舎<sup>しゃ</sup>に入<sup>はい</sup>るときは、必<sup>かな</sup>ず職<sup>しょく</sup>員<sup>いん</sup>室<sup>しつ</sup>に<sup>い</sup>る<sup>る</sup>先<sup>せん</sup>生<sup>せい</sup>に<sup>つた</sup>え<sup>え</sup>て<sup>て</sup>か<sup>か</sup>ら<sup>ら</sup>入<sup>はい</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>よ。
- ・ わ<sup>わ</sup>か<sup>か</sup>ら<sup>ら</sup>ない<sup>い</sup>こ<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>や困<sup>こま</sup>つ<sup>つ</sup>た<sup>た</sup>こ<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>があ<sup>あ</sup>つ<sup>つ</sup>たら<sup>ら</sup>、す<sup>す</sup>ぐ<sup>ぐ</sup>に<sup>に</sup>先<sup>せん</sup>生<sup>せい</sup>に<sup>そう</sup>談<sup>だん</sup>しましよ。



# 家庭生活のやくそく

## 1 帰宅時間について

- 3月～9月・・・午後6時までに家に帰りましょう。
- 10月～2月・・・午後5時までに家に帰りましょう。



## 2 生活について

- ・ できるだけ外で元気よく遊びましょう。
- ・ 遊びに行くときは、どこでだれと遊び、何時に帰るのかを家の人に伝えましょう。
- ・ メディアの約束を守り、やりすぎに注意しましょう。  
「万倉っ子のメディアの約束」 「〇〇家の約束」
- ・ お金や物の貸し借りは、トラブルになるのでしません。
- ・ 友だちの家で遊ぶときは、マナーを守り迷惑にならないように遊びましょう。  
また、家の人（大人）がいない時には、家に上がって遊びません。



## 3 安全について

- ・ 危ない所や人の迷惑になる所、人がいないさびしい所などでは遊びません。  
（道路、駐車場、田んぼ、畑、空き地など）
- ・ 危ない遊び（エアガン・火遊びなど）はしません。
- ・ つりや川遊び・水遊びは、家の人（大人）といっしょにしましょう。
- ・ ゲームセンターや映画館、ショッピングセンター、カラオケ、温泉などには家の人（大人）といっしょに行きましょう。
- ・ 子どもだけで校区外に出られません。
- ・ 事件や事故にあったときは、すぐに家の人や近くの大人、警察に知らせましょう。そして、学校にも知らせましょう。（☎67-0206）



## 4 自転車について

- ・ 自転車に乗ったときは、自動車のなかまです。交通ルールや家の人との約束を守って、安全に気をつけて乗りましょう。
- ・ 自分の命を守るために、必ずヘルメットはかぶりましょう。
- ・ 横断歩道をわたるときは、自転車から降りておしてわたりましょう。
- ・ ブレーキやライトなど点検をしてから乗りましょう。（ぶたはしゃべる）

